

大夫志殿御返事

弘安四年一二月一日 六〇歳

すみざけ 筒 みもじ 桶 なまわかめ
聖人一つ、味文字一をけ、生和布一こ、聖人と味文字はさてをき候ひぬ。生和布は
始めてにて候。将又病の由聞かせ給ひて、不日に此の物して御使ひをもって脚力きゃくりきにつ
かわされて候事、心ざし大海よりふかく、善根は大地よりも厚し。かうじん幸甚かうじん。
恐々。

十二月十一日

日 蓮 花 押

大夫志殿御返事